

R8年度 第1回 青森県介護福祉士会
支部合同研修企画

「そもそも」から考える 自立支援介護

～支援の前提を問い直す視点を育む～



「自立支援介護」とは、ただ「出来ること」を増やす支援ではありません。
その人が、どんな人生を歩んできたのか。何を大切にしてきたのか。
相手の暮らしを理解するところから、自立支援は始まります。その為には、まず介護する側の皆さんが
自分の「そもそも」に立ち返ることが大切です。自分はなぜ介護の仕事をしているのか。
大切な価値観はなにか。どんな介護をしたいのか。介護観を見つめなおせる研修です。

【DAY 1】 R8年9月3日(木) 13:30～16:30

～私の「そもそも」から、自立支援の「そもそもへ」～

研修内容：講義・グループワーク（※研修を通し、実践課題を作成します。）

研修方法：ZOOMによるリモート研修

【実践期間】 R8年9月4日(金) ～ R8年10月23日(金)

～設定した課題を実際の現場（職場）に持ち帰り実践する～

※実践中の様子は、適宜確認や都度報告して頂き、進捗状況を確認します。

【DAY 2】 R8年10月27日(火) 13:30～16:30

～「実践報告会」研修を経て支援はどう変わったか？～

研修内容：講義・グループワーク

研修方法：参加人数により、リモートもしくはハイブリット型式

（会場は青森市のいずれか）のどちらか。第2回の開催方法は、追って
ご連絡致します。

【受講検討中の皆様の皆様へ】

本研修では、「自身の振り返り」が1つのテーマとなります。仕事に慣れてきたころの振り返りのため。後輩職員や実習生の指導のため「自分」を見つめなおしませんか？

受講対象者

介護現場での経験が浅い新人から、中堅職員まで

受講費用

会員：4,000円 非会員：8,000円

※2回参加で上記の参加費用です。

※1日目で受講終了しても返金は致しません。

講師など研修の
詳細な情報は裏面へ

講師 IBAFUKU(いばふく)より講師をお招きしました！！

小林 信彦 氏（いばらき中央福祉専門学校 教員）

薄井 崇 氏（社会福祉法人 北養会 介護老人福祉施設 北勝園 施設長）



～IBHUKU(いばふく)とは～

2016年に「いばふく～茨城から福祉で世界を元気にするプロジェクト～」を立ち上げ、福祉における人材不足問題についてアプローチしたり、福祉の楽しさを広めるため、様々な研修やイベントを企画、実施しているチームです。

※いばふくについての詳細はこちらからどうぞ！⇒
<https://www.ibafuku.com/>



メッセージ

青森県介護福祉士会から事業所の皆様へ

今回の研修では「受講するだけ」の研修から、「事業所と介護福祉士会が連携して人材育成を行う」というイメージで企画した研修になります。研修中は、受講生の研修状況や課題の設定状況など、事業所へフィードバックします。また必要に応じて、実践期間中の受講生の様子も事業所へお聞きします。研修先での職員の様子、実践中の様子を相互で共有し、より実りのある研修にしていきたいと考えます。

青森県介護福祉士会として、初の試みとなる伴走型研修です。
ぜひ、私たちと一緒に人材育成について、取り組んでいきませんか？

【問い合わせ先】

一般社団法人 青森県介護福祉士会

TEL：017-731-2006

Mail：ao2cw103ass@image.ocn.ne.jp